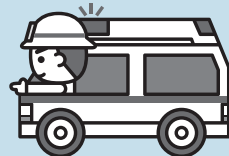


9月9日は「救急の日」



救急車の適正利用にご協力ください！

救急車の数には限りがあるため、不適切な利用により、生命に危険がある重篤(重い病気やけが)な患者への対応が間に合わなくなる可能性があります。一刻も早く病院へ搬送しなければならない患者のために使われるよう、救急車の適正な利用を心掛けましょう。

【問い合わせ】ひたちなか・東海広域事務組合消防本部警防課(☎282-2153)

必要なときに、確実に救急車が利用できるように… 救急の日をきっかけに、救急車の適正利用について考えてみませんか？

令和2年中のひたちなか・東海広域事務組合消防本部管内(東海村・ひたちなか市)における救急出動件数は7,467件、搬送患者数は6,813人で、1日平均約20件の救急要請がありました。

救急車で病院へ搬送された方のうち、入院を必要としない軽症者の割合は、全体の半数を占めています。「診てくれる病院が分からない」「便利だから」など、安易な救急車の利用が多くなると、近くの消防署から救急車が出動できず到着が遅くなるなど、迅速な処置に支障を来す恐れがあります。救急車の利用について、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。



症状を見逃さず、迷わずに、すぐに救急車を呼ぶことも適正利用の一つです

下記のように緊急性が高い場合は、迷わず119番で救急車を呼びましょう。

- ▼意識が無い
- ▼呼吸が苦しい
- ▼急な頭痛、胸痛、腹痛
- ▼ろれつが回らない
- ▼手足の動きが悪くなった
- ▼大出血している
- ▼交通事故や高所からの転落
- ▼明らかに様子がおかしいなど

こんなときは、
すぐに119番



救急車を呼ぶべきか判断に困ったときは、救急電話相談をご利用ください

急な病気やけがで、すぐに受診したほうがよいのか、様子を見ても大丈夫なのか、不安なときや救急車を呼ぶべきか迷った際には、右記の救急電話相談をご利用ください。



#7119は住民の安心安全を守る

おとな救急電話相談
医療機関のご案内、急な病気に関するご相談を受け付けています。
プッシュ回線 **#7119**
全ての電話から **03-6667-3377**
受付時間 24時間365日

子ども救急電話相談
小児医療機関のご案内、お子さんの急な病気に関するご相談を受け付けています。
プッシュ回線 **#8000**
全ての電話から **03-6667-3377**
受付時間 24時間365日

被災地の安心・安全を守るために

静岡県熱海市土石流災害へ緊急消防援助隊が出動

7月3日に静岡県熱海市で発生した土石流災害の救助活動に当たるため、7月20日から26日までの7日間、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部所属の消防隊員4隊19人が「緊急消防援助隊」として現地に派遣されました。

これは、消防庁長官からの指示に基づき、県内17の消防本部、延べ53隊191人により編成された「茨城県大隊」として、1都8県の消防隊員とともに被災地の支援に当たったもの。現地では、土石流に押しつぶされた自動車の内部や、天井まで土砂に



埋もれた住宅内の土砂の搬出、行方不明者の捜索活動に従事しました。

派遣された隊員の一人、大内規稔・特別救助隊長は、「炎天下で過酷な状況ではありましたが、被災地住民からの感謝の言葉やおもてなしが励みになり、無事に遂行できました。この経験は忘れません」と振り返りました。また、消防本部を統括する井坂宏・消防長は、「今回の派遣が微力ながら被災地の復旧に役立っていれば、消防の責務・使命を果たせたものと思います。これからも隊員の消防救助技術の向上を図り、住民の安全・安心を守っていきます」と決意を新たにしていました。

